

新高通信



第 3 9 号

秋田県立新屋高等学校

年度当初の所感

校長 佐々木 律 成

新校長の佐々木律成（りっせい）と申します。世界に知られた三善晃氏（昨年80歳で逝去）作曲の感動的な校歌を予習して着任式に臨み、一緒に朗唱し、すぐ新屋高校の一員となりました。よろしくお願い申し上げます。

生徒の皆さんには、生き方を考える契機となる、様々な話をしていますが、特に「なぜ勉強する必要があるか」をもう一度思い出してほしいものです。勉強は、本物（「すごい」といわれる人や事象）に出会い、広い視野と多様な角度からの物事の見方を身に付けるために必要です。本物と偽物を見分けて、若者が生きづらい時代の中でも、だまされない力、偽物から自分を守る力を付けるために必要です。その上でさらに将来も勉強を重ね、社会に貢献できる力を付けた人間として成長できるのです。

さて、今年度は創立30周年記念式典が9月19日に挙行され、5月・6月には記念招待試合も行われます。各部活動が活況を呈し、すでに文芸部が全国高校総合文化祭の出場権を獲得しており、他の部も「文武両道」の充実した生活を過ごす中で、食欲に上位大会をめざすよう期待します。今後とも、関係各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。



平成26年度 第31回 ～入学式～



4月8日（火）13時30分より、本校体育館において第31回入学式が挙行されました。

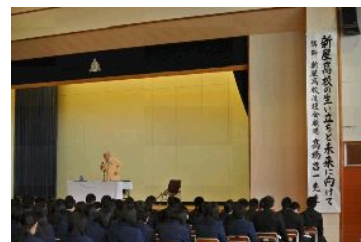
新入生200名の入学許可の後、佐々木律成校長より「先生や先輩たちを信頼し、思い切って新しい生活に飛び込んでください。よく学び、他人の幸福を願い、自己犠牲の精神を発揮して、社会に貢献できる人材となってほしい」と、式辞がありました。

その後、新入生代表1年B組木村太亮さんが「私たちはそれぞれの夢に向けて、これから出会う全てのことに真剣に取り組めます」と、誓いの言葉を述べ、高校生活への抱負を胸に、新しいスタートを切りました。

ももさだ講演会

5月1日（木）、学校後援会顧問高橋昌一氏を講師としてお招きし、「ももさだ講演会」が開かれました。高橋昌一氏は、新屋高校の創立に大変尽力された方で、その御経験を踏まえ「新屋高校の生い立ちと未来に向けて」と題し、本校創立までの経緯をお話いただきました。

また、新屋高校の校訓には、“Do for others”すなわち“人のために尽くしなさい”という意味が込められており、この校訓のもと、教育の場として大変恵まれたこの土地を提供してくださった地域の人たちに感謝しながら学校生活を過ごしてほしい、とのお言葉をいただきました。



新高祭について

6月27日（金） **仮装行列** 10:00～11:00 ※小雨決行

〈コース〉

- 西部市民サービスセンター(10:00)
- 日吉神社前交差点(10:05)→県道56号
- 新屋表町街区公園・ルーテル愛児幼稚園(10:15) パフォーマンス披露
- 新屋表町商店(10:30) →○交差点・県道56号×65号(10:35)
- 新屋幼稚園(10:40) パフォーマンス披露
- 西部市民サービスセンター(11:00)

6月28日（土） **一般公開** 9:00～14:30

テーマ **spirit ～集いし新屋魂!!!～**

ステージ発表 9:30～14:15 演劇・吹奏楽・生徒会企画他

生徒指導の基本方針

生徒指導主事 川村 寿紀

自律的態度と基本的生活習慣の確立を目的とし、生徒1人ひとりが新屋高校生の生徒としての誇りと自覚を持ち、節度ある行動をすることを身につけさせるために、

- ① マナーアップ指導の徹底
 - ・ 明るく元気なあいさつの励行
 - ・ 地域社会とのかかわり方（積極的あいさつ）
 - ② 非行、事故の未然防止と、問題行動発生時の適切な対応
 - ③ 学年部、教育相談部、地域、家庭との密接な連携
- といった3つの項目を具体的指導として力を入れていきたいと思ひます。
御理解と御協力をお願い致します。

努力に勝る才能なし

進路指導主事 石井 啓之

4月に実施した進路志望調査の結果がまとまりました。各学年とも、進学希望者の割合が9割前後と多く、就職希望者が1割前後という結果です。また1、2年生で、進学とは決めていても校種（4年制大学、短大、専門学校など）、具体的に進みたい分野（学部・学科）、学校が明確でない生徒や、就職を考えていても希望する具体的な会社・職種などをまだ考えていない生徒が多く見られます。学校としてもガイダンスをはじめ種々の進路学習を進めてまいりますが、保護者の皆様から是非、将来社会の中で果たしたい役割を具体的に考えさせ、志望を明確化するよう仕向けてください。

ところで、国公立大学は、どの学年でも毎年60～80名程度と最も多くの生徒が志望しますが、ここ3年間実際に進学できた卒業生は毎年20名前後です。残念ながら1/4程度と、最も第一志望達成率の低い進路先になっています。国公立大学の入試は5教科7科目のセンター試験と各大学の2次試験を受験し、全県・全国の受験生と競い合う難関ではありますが、志望者全員が低学年時から真摯な努力を始め、諦めず最後まで努力を継続することができれば、新高生にはまだこの何倍もの合格者を出すポテンシャル（潜在的可能性）があるものと考えています。国公立大学に現役で合格するためには、1・2年生の時から、部活動に加入している生徒で毎日2時間、加入していない生徒で毎日3時間以上の自宅学習を継続し、授業の予復習や発展問題に取り組む必要があると言われます。国公立大学のみならず医療系の学校、公務員など難関の進路を志望する生徒には、このことを自覚して改めて自らの日々の生活を見直すよう保護者の皆様から御督励お願いしたいと思ひます。

変化のスピードが年々速くなっていく21世紀の職業生活では、絶えず新たな分野を勉強したり、資格を取得したりと、学び続けることのできる人材が求められるようになると思ひます。多忙を極め、悩みも尽きない高校生活の中、苦しくとも努力を止めない逞しい新高生として育つよう、保護者の皆様をはじめ関係各位の御支援、御協力をお願いいたします。

4月進路志望	合 計	国公立大	私 大	短 大	専門校	進学未定	民 間	公務員	就職未定	全く未定
1 年生	200	68	6	11	32	62	3	6	6	6
2 年生	200	60	32	17	48	16	5	16	2	4
3 年生	198	54	42	19	53	3	11	12	4	0

♪ ♪ # 吹奏楽部フレッシュコンサート ♪ ♪

5月11日（日）午後1時30分より、秋田県民会館において吹奏楽部による第24回フレッシュコンサートが開催されました。

第1部クラシックステージ、第2部パーカッションパフォーマンス、第3部ポップスステージの3部で構成され、特に今年の新企画パーカッションパフォーマンスは、リズム感あふれる演奏で、存分に新屋高校吹奏楽部の魅力を感じることができました。



各部の活躍（中央支部総体）

弓道	女子団体	第3位	渡邊雄真 佐々木許妃恵 佐々木許妃恵 渡部歩実	剣道	男子団体	第3位	須田陽斗
バドミントン	男子個人	第2位		サッカー	男子個人	第2位	
	女子学校対抗	第2位		女子テニス	女子学校対抗	第3位	
	女子シングルス	第2位					

創立30周年記念事業報告

5月2日（金）、全校生徒の応援のもと、次のように剣道部とサッカー部の創立30周年記念招待試合が開催されました。

剣道部 10時～県立体育館 招待校：白河旭高校（福島県）
サッカー部 13時～八橋陸上競技場 招待校：羽黒高校（山形県）

どちらも白熱した試合展開で、公式戦以上の盛り上がりを見せました。

生徒の応援や観戦マナーも非常に立派でした。

試合結果は、剣道が5対0で、サッカーが1対0で、どちらも勝利しました。



サッカーの得点シーン